

PIER01

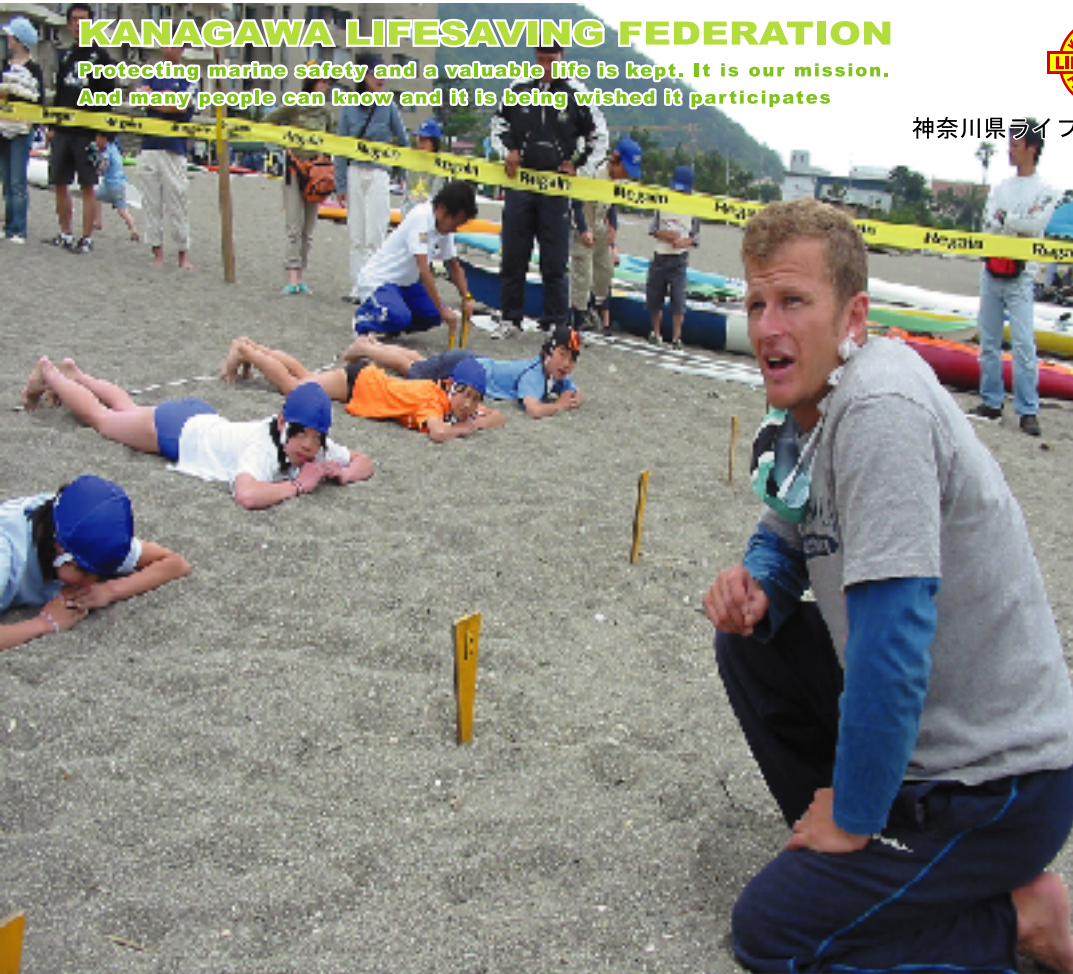
KANAGAWA LIFESAVING FEDERATION

Protecting marine safety and a valuable life is kept. It is our mission.
And many people can know and it is being wished it participates



vol.07

神奈川県ライフセービング連盟会報誌ピアワン 通巻7号



The 7th KANAGAWA OPEN SURF LIFE SAVING CHALLENGE 2005

第7回神奈川県ライフセービング選手権
オープンサーフ・ライフセービングチャレンジ

開催日：平成17年5月22日（日）

場所： 森戸海岸（神奈川県葉山町）

主催： 特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング連盟
（日本ライフセービング協会神奈川県支部）

後援： 神奈川県・神奈川県教育委員会・葉山町・葉山町商
工会青年部・ハワイ州ライフガード協会・特定非営
利活動法人日本ライフセービング協会

協賛： キリンMCダノンウォーターズ株式会社（ボルヴィ
ック）

協力： 森戸海岸組合・葉山ライフセービングクラブ
特定非営利活動法人葉山ウエイヴス&サンド

神奈川県連盟に加盟するライフセービングクラブが活動する浜、県内の東から順に開催場所を移して実施してきたこの大会も7回目となりました。

今回は、大規模なライフセービング大会の実施が初となる、葉山町の森戸海岸を会場に大会史上最多の参加者を集めて実施いたしました。地元団体との協力により参加者全員でビーチクリーンを実施するなど、地域との関わりを大切にする大会を目指しています。

多数の出場者によりタイムスケジュールが厳しい中で、大きな遅れを出不せずに運営することができたことはオフिशヤルスタッフの協力によるものであり、近年の目覚ましいオフिशヤル組織の充実が感じられました。

この大会から設けたオープン種目ビーチフラッグスは、ライフセービングの入門者により活動に親

第7回神奈川県ライフセービング選手権大会

しみを持ってもらえるようにと実施しました。さらにジュニア種目は、ビーチフラッグスだけでなく今回からランスイムランを実施して、各クラブでの活動の励みとなるようにしています。

競技では、男女とも優勝者に新しい名前が見られるようになるなど、各競技で白熱した戦いが繰り広げられていました。

一般男子で内田直人選手（辻堂ライフセービングクラブ）が2種目を制覇しました。盛大無事のうちに本大会を終了することができましたのも、関係各位の皆様のご尽力の賜物であり、深く御礼申し上げます。

今後とも、ライフセーバーの体力・技術力の向上とともに、水辺の安全思想の普及という役割を担う大会を目指し、努力していきたいと考えております。

神奈川県ライフセービング連盟に加盟のクラブ

- 横浜海の公園サーフライフセービングクラブ
- 三浦海岸サーフライフセービングクラブ
- 葉山ライフセービングクラブ
- 逗子ライフセービングクラブ
- 鎌倉サーフライフセービングクラブ
- 西浜サーフライフセービングクラブ
- 辻堂ライフセービングクラブ
- 茅ヶ崎ライフセービングクラブ
- 湘南ひらつかライフセービングクラブ
- 大磯ライフセービングクラブ
- 二宮ライフセービングクラブ
- 湯河原ライフセービングクラブ
- サーフ90ライフセービングクラブ
- 玉川ライフセービングクラブ
- 専修大学ライフセービングクラブ
- 文教大学ライフセービングクラブ
- 東海大学湘南校舎ライフセービングクラブ

LIFE SAVING CHALLENGE 2005



KANAGAWA OPENSURF LIFESAVING CHALLENGE 2005 RESULT REPORT

平成17年5月22日 森戸海岸(神奈川県葉山町)で開催された第7回神奈川県ライフセービング選手権の大会結果をお知らせします。

サーフスキーレース	
1	内田直人 辻堂
2	堀部雄大 東海大学湘南校舎
3	長竹康介 西浜
4	川本高透 辻堂
5	光用和寿 柏崎

アイアンマン	
1	林昌広 湯河原
2	堀部雄大 東海大学湘南校舎
3	長竹康介 西浜
4	大沢和正 九十九里
5	井上啓 茅ヶ崎

ランスイムラン	
1	青野武士 茅ヶ崎
2	中島章 鴨川LSC
3	遠藤雅 柏崎
4	三橋宏則 横浜海の公園LSC
5	井出尚利 東海大学湘南校舎

ビーチフラッグス	
1	比留間悟 湯河原
2	池内秀文 サーフ90茅ヶ崎
3	巻口啓人 サーフ90茅ヶ崎

マスターズ種目・ランスイムラ	
1	大西明 二宮

2kmビーチラン	
1	本田吉紀 二宮
2	平松佑一 国土館大学
3	金成宗典 鴨川
4	露崎文昭 東海大学湘南校舎
5	高橋政人 岩井

ボートレース	
1	内田直人 辻堂
2	長竹康介 西浜
3	堀部雄大 東海大学湘南校舎
4	井上啓 茅ヶ崎
5	林昌広 湯河原

ビーチフラッグス	
1	Morgan・Foster 二宮
2	北矢宗志 西浜
3	山口一樹 東海大学湘南校舎
4	猪爪賢史 式根島
5	瀬間貴浩 二宮

アイアンウーマン	
1	鈴木郁蘭 岩井
2	加藤由美 湯河原
3	新山真以 西浜
4	澤田哉 白浜
5	中本恵子 西浜

ランスイムラン	
1	伊藤彩香 日本大学
2	青木麻佑美 鴨川
3	三木玲奈 湯河原
4	望月めぐみ 東京女子体育大学
5	安藤諒子 国土館大学

レスキューチューブレース	
1	九十九里
2	鴨川
3	柏崎
4	白浜
5	横浜海の公園

ビーチフラッグス	
1	佐々木啓允 順天堂大学
2	竹内悟 国土館大学
3	坂倉浩太 順天堂大学
4	
5	

2kmビーチラン	
1	中島和美 大磯
2	佐藤千紘 岩井
3	日吉美咲 日本女子体育大学
4	沼上佳奈 神津島
5	梶川季恵 東海大学湘南校舎

ボートレース	
1	鈴木郁蘭 岩井
2	勝俣閑 神津島
3	加藤由美 湯河原
4	村野恵子 和田浦
5	伊藤彩香 日本大学

ビーチフラッグス	
1	小室亜紀 東京女子体育大学
2	鈴木麗美 日本女子体育大学
3	真舟麻由 順天堂大学
4	田中和 横浜海の公園
5	三木京子 和田浦

サーフスキーレース	
1	加藤由美 湯河原
2	新山真以 西浜
3	鈴木絵里子 日本大学
4	中本恵子 西浜
5	加藤文恵

ランスイムラン	
1	池田有花 茅ヶ崎
2	中村衣里 茅ヶ崎
3	大田澄香 茅ヶ崎

ランスイムラン	
1	池田有花 茅ヶ崎
2	上岡美沙 茅ヶ崎
3	植杉葵 茅ヶ崎

ビーチフラッグス	
1	海藤春菜 東京女子体育大学
2	大石美和子 東京女子体育大学
3	宮原千明 東京女子体育大学

ランスイムラン	
1	柴崎啓子 葉山

マスターズ種目・ビーチフラッグス	
1	柴崎啓子 葉山

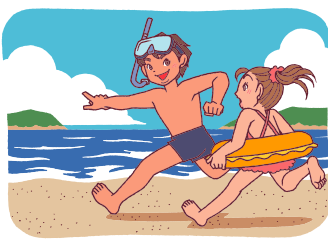
男子種目 女子種目 オープン種目 団体種目 マスターズ種目 ジュニア種目

監視塔(ライフガードタワー)の意味

皆さんのガード地では、どんな監視業務「ガード活動」を行なっていますか?

海の家のならびに本部小屋があって、波打ち際にタワーが数箇所あり、そこにボートやチューブ、なかにPRBやPWCが備えてあるような体制がほとんどでしょう。

私が活動する西浜(片瀬西浜海水浴場)では、江ノ島よりの護岸から、鶴沼の引地川の手前までの約1.5kmがすべて海水浴場のエリアとなります。そのなかで、本部と詰所が建ちます。その2箇所を拠点に、全部で6箇所のタワーが設置されます。これらのタワーは場所によりタイプが異なり、鶴沼と江ノ島よりの遊泳区域の柵にはその上に常設されますし、他のところは木材で組んだだけのヤグラか、ポールを使うようなタイプのもです。



安全な海水浴のために。子供達を守るために。

これはいすれもしっかりとした屋根がなく、日差しは避けられないし、雨が降れば当然ずぶ濡れになります。劣悪な環境と云っていいでしょう。本来であれば、日焼け防止のために日差しはよけられなければいけません。雨が降ってもお客さんが海から上がらるまでにはタワーから降りることは出来ませんから、雨を避けなければならないわけですね。つまり「日よけ」「雨よけ」「風よけ」は必要な機能です。そこにそれだけでなく、お客さんから「ライフガードがそこにいる」「事故がすぐ目立たない」と意味がないのです。

特に西浜では、ビーチが人で埋め尽くされるほどに混雑します。そんな時に、ボートパトロールに出て、タワーの位置を海上から確認してもなかなかすぐに見つけられないことがあるのです。それはつまり、お客さんからしても「ここにライフガードがいる」のか分かりづらいということなのです。

ライフガードが目立つことが安全なビーチに

溺水事故の時には、お客さんからの通報で救助に向かうことも少なくないですね。そのためにも、あそこ「ライフガードがいる」「事が誰でもわかるようなタワーでないと意味がないのです。

このことがすべて網羅されたタワーが、さらに西浜に並ぶように、さらには湘南海岸一体に、同じタイプのものが並びふようになれば、あそこには「ライフガードがいる」ことが誰でもわかるようになり、さらに「ライフセービング普及」「安全なビーチづくり」に繋がるのではないのでしょうか。

それは、ライフガードにとってより良い環境があたえられ、利用者にとってより良い安全が与えられることなのです。ライフガードタワーにはそんな意味が含まれていると思います。



全天候対応型監視タワーがある片瀬東浜海岸。

入谷拓哉 プロフィール

いらにたくや 西浜サーフライフセービングクラブ所属。98年、02年世界大会に日本代表、01年秋田ワールドゲームスに日本代表選手キャプテンとして出場。現在は、ハワイ「パイラインマスターズ」などのサーフィンコンテストでウォーターパトロールとして活動中。西浜では、ジュニア・ライフセービングの指導者として、後輩の育成にも努める。



21世紀型のスポーツ！ The Life Saving

先の「第31回全日本ライフセービング選手権大会」の開会式で、JLA小峯理事長の挨拶の中で「今世紀中に各スポーツの記録は限界に達して、そのスポーツの魅力が失いかねないが、勝ち負けよりも命を救う、命の尊厳を守るスポーツであるライフセービングは、世の中からさらに注目を集めることになろう」とのコメントはとて魅力的であった。

その小峯理事長と青春時代を片瀬西浜の海と監視所でも過ごして、現在はオーストラリアのシドニー日本人学校に赴任中の山口毅氏からは、次のようなメッセージがその翌日に届いた。

「さて、全日本があったんですねーすっかり忘れてしまったぞ。今某LSCのページを見て確認しました。熱気が伝わってきましたが、逆に見ていて苦しくなる面もありました(その中には参加ライフセーバーのあまりにも勝ち負けにこだわるコメントが数多く見られたため)。ライフセービングを志した者の中には他の競技からの転向組が大半占めていると思います(10年前は100%そうでした)。自分の経験したスポーツでいかな思いついた思いをしたものが結構多かった。ヒーローになれない者も...。その着目が出たライフセービング。それは「勝ち負けだけじゃない」という今までにない新たなエネルギーをそれぞれの心を与えてくれた。そのエネルギーは、気持ちよく自分たちの欲求を満たしてくれるものだった。」

しかしながら、今では何でもライフセービングにつなげたがる。ライフセービングは自分のすて...。

冠婚葬祭から、競技、教育まで... 苦しいですね。他の競技を志して傷ついたものが、その歴史を繰り返して、また新しくライフセービングを志したものを傷つけていきそうな勢いです。こうなるライフセービングって、人の人生まで左右しかねないですね。本当にそう感じています。目的がないと海に行けなくなってしまうし...

我が家の3人の子供達は、モナホールLSCのニッパーに入れ、先週から楽しくやっています(注:オーストラリアの子供達は、半年毎にスポーツを変える。ちなみに山口家の息子達は冬のサッカーと夏のLSの2シーズン制)。やはり、当たり前のように家族で子供を見ることと出来る活動がいいですね。でないと人生を左右してしまう活動になってしまっています。まあ、山口はライフセービング辛口評論家として遠いモナホールから皆さんを応援しています(以上、山口氏からのメールより抜粋)。

PTSDを患う問題は解決できるか?

今年、某ジュニアライフセービングの講習会中に、隣りのビーチで重溺があり、駆けつけた指導員を含むライフセーバーの必至の CPR にも関わらず、溺者の方はお亡くなりになった。このような人命を助けられなかった経験を持つライフセーバーには、心に重い PTSD (心的外傷後ストレス障害) を患うケースがあり、回復できないまま LSC (ライフセービング) 界を去る者も少なくない。

私も過去3人の重溺者への CPR 経験があり、PTSD がまったくないとは言えない。今でも3件についてはっきりと覚えていて、亡くなった子供の名前は生々覚えていることが出来ないと切り切れる。

「命を救う、命の尊厳を守るスポーツ」は、裏を返せば「命を救えない、命の尊厳を守れないこと」も時にはある厳しいスポーツである。もうやく最近、JLA (日本ライフセービング協会) ライフセーバー内で PTSD について調査研究をすすめていく意見を聞く。

21世紀を担うこれからのライフセーバーとライフセービングクラブのためにも、その成果が待たれる。

ライフセービング哲学 日本的解釈が必要。

ライフセービングのフィロソフィー(哲学)とは何でしょうか? まだ JLA ではきちんと英文化、テキスト化したものはありません。もしまれば、そのバイブルこそ、ライフセービングの心であり、至でもありまじょう。

ILS (国際ライフセービング連盟)、海外のライフセービングのフィロソフィーを含めて、武士道や儒教の教えも加えた日本ライフセービングのフィロソフィーがまとめられた時には、あらゆる日本のスポーツ団体(協会、ヤアスリーツからレスベクトされて、JLA の講習や指導をもっと受け入れられてくれることであらう。

私は、小峯理事長とライフセービング辛口評論家、優秀な理事、各委員会、事務局、そして21世紀を担う素敵なライフセーバーとともに、ライフセービングライフを築きつつ、生涯を全うしたいと思っています。

PS なお新島で力強く心優しい数多くのライフセーバーを育てて、今年の夏にお亡くなりになった「前田のじっさあん」ライフセービングを愛した新島における伝説的漁師「Water Man であられた」のご冥福を、この場をお借りして心からお祈りしたいと思います。台筆。前田のじっさあんへ

天国でも JLA の赤い帽子をいつも誇らしげに被ってくださいているんでしうね。ありがとうございます。いつまでも JLA を温かく見守ってください。

田前乗りおじさん



新島でのあしり日。前田のじっさあんと。写真右から小峯JLA理事長、前田のじっさあん、筆者。

WORLD REPORT RESCUE 2006

加藤道夫 プロフィール

横浜海の公園ライフセービングクラブ創始者。日本ライフセービング協会 (JLA) インストラクターとして活躍。97年 神奈川県支部設立と同時に理事に就任。01年 県連盟設立と同時に理事に就任。03年4月 県連盟理事長及びJLA理事に就任。株式会社サーフレジェンド (波伝説) 代表



今年もやってきた 年に一度の世界祭典

来年2月10日〜26日、オーストラリア・ビクトリア州メルボルンの避暑地、ジエロンとローンを会場に開催される、RESCUE 2006。

2年に一度のライフセービングの祭典です。ILS 加盟各国ナショナルチーム、インタークラブチームによる世界選手権大会をはじめ、世界中のライフセービング活動が直面する様々な問題に関してのカンファレンス、ライフセービングスポーツのためのカンファレンスも同時に開催されます。

Rescue 2006 ウェブサイトにて詳細のインフォメーション得ることが出来ますが、なにぶんにも英語での案内です。興味ある方、がんばって読解チャレンジしてみてください。インタークラブ世界選手権にエントリーを予定しているクラブは、早めのエントリー、宿泊確保をお勧めします。

2004年にイタリア・ヴェネツィアで開催された RESCUE 2004 は、5カ国のナショナルチーム、19のクラブチームが世界各国から出場しましたが、今回は開催地がライフセービング先進国オーストラリアということもあり、それをはるかに上回るチームの出場が予想されます。選手としての参加だけではなく、世界のトップレベル競技の観戦 JLA ナショナルチームの応援もまた楽しいことと思えます。

同時開催される 2006 International lifesaving Conference では、行政との連携、同種の他組織との協力、リスクマネージメント地域コミュニティとしてのユウフ等々大変興味深いテーマについてのセッションが用意されており、世界各国の情報交換の場となります。

波「かなりヤバめ」らしいです。

2006 International Lifesaving Sports Conference アスリート、コーチ、ファン、大会運営者のための内容となっています。それぞれ別々に登録が必要ですので、ウェブサイトを (<http://www.rescue2006.com>) を確認ください。

会場は、ジエロンがメルボルン空港から車で約1時間、ローンはさらに約1時間のところですが、去る3月の全豪選手権の際、Aussie に「オーション競技の会場となるローンの波はどうか」とたずねたら「かなりヤバめ...」との答えでしたが、その解釈すればよいのかは皆様にお任せ。サア、みんな参加しまじょう！

他にマスタース、サーフポート、IRB等の大会もあり。詳細はウェブサイトににて確認下さい。



RESCUE 2006の詳細スケジュールは、背表紙に掲載してあります。ご参照下さい。



相澤 千春プロフィール
70年代より、現日本ライフセービング協会 (JLA) の前身、湘南指導員協会・日本ライフガード協会での活動を経て、夫相澤重男氏 (県連盟会長) と共にライフセービング活動の組織化に奔走。1984年から5年間に渡り展開された豪日交流プログラムに従事。1987年には、ジュニアプログラムをテーマに渡豪。2003年11月より県連盟理事就任。JLA事務局でも国際交流担当として活躍。

K.L.F Information

セミナー情報から新商品情報、LS資格取得までさまざまな情報をお知らせします。

ライフセービングの国際大会 レスキュー06

競技はマスターズ、サーフボード、IRB等の大会もあります。詳しくはウェブサイトをご確認下さい。http://www.rescue2006.com



2月	カンファレンス	チャンピオンシップ	共通イベント
11 土	開発途上国 コーチングワークショップ		
12 日	開発途上国 コーチングワークショップ	ナショナルチーム ブリーフィング	ウェルカムBBQ
13 月			ILS ディナー
14 火		プール競技	開会式
15 水		プール競技 SERC	
17 金		オーシャン・ビーチ競技	
18 土	インターナショナルライフ セービングカンファレンス	オーシャン・ビーチ競技	
19 日	インターナショナルライフ セービングカンファレンス	プレゼンテーション 閉会式	ワールドマーチ バーストオープン ウォータースイム
20 月	インターナショナルライフ セービングカンファレンス		
21 火		インタークラブ ブリーフィング SERC	
22 水		プール競技	
23 木		プール競技	
24 金		オーシャン・ビーチ競技	
25 土		オーシャン・ビーチ競技	
26 日		オーシャン・ビーチ競技 プレゼンテーション 閉会式	

Report

大磯LSC 加藤文恵

大磯ライフセービングクラブ



私たち大磯LSCは、海水浴場発祥の地としても知られる大磯海水浴場を拠点として活動しています。この海水浴場は、遊泳区域内にカブト岩をはじめとした大きな岩がいくつもあり、リップカレントも発生しやすくとても危険性の高いビーチです。

私たちはそんな中でも「事故を起こさないスペシャリスト」を目指し日々努力しています。また、緊急の対応として、救急救命士や看護師を核とした救護体制を整え、質の高い救急処置の提供を目指しています！

クラブ員は東海大学湘南や国士館大学を中心とした学生、また消防士や警察官、教員やプロサーファーなど多彩な社会人メンバーを交えた総勢50名を超えるチームとなっています。Jrプログラムをはじめ様々なイベントなども年間を通し行っていますので、興味のある方はぜひHPをご覧ください！よろしければ、試しに大磯の監視活動にも参加してみませんか！

TOWER 溺者発見に最適！サビない・軽い・丈夫！移動もラクラク。



現役ライフセーバーの意見とハワイのノウハウが詰ってます。

この監視タワーはハワイの監視塔をモチーフにし現役のライフセーバーの方達の意見を元に両風を防ぎ、遠方はもとより近いエリアにも目が行き届く高さに設計され、監視がしやすいように開発しました。アルミ処理済耐食アルミ70mm角パイプ(センターリブ入り高強度パイプ)と38mm角パイプ型、オリジナル押し出し材を使用しボルト類は全てステンレス製を使用しているので塩害に強く錆びません。本体ジョイント部分はボルト組立式のため、不要時には分解して保管が可能です。屋根、側壁はFRP製ハシゴも取り外しができ、砂浜用マリンタイヤを装着する事で本体やハシゴを容易に移動することが可能です(タイヤは不要時には外せます)。資料請求は下記までお問い合わせください。

■2006年東京国際ポートショーに実物展示予定です。

分解式アルミ製監視タワー

TW001 ￥714,000

税込、分解発送、送料別途

FACTORY ZERO (有)ファクトリーゼロ
〒243-0417 神奈川県海老名市本郷348-13
TEL: 046-238-9411 FAX: 046-238-9422
URL: http://www.factory-zero.co.jp
E-mail: info@factory-zero.co.jp

Jr. ライフセービング 体験講習会 in 片瀬西浜海岸

7月9日(日)に片瀬西浜海岸において、大和青年会議所の子供達を対象としてジュニア体験講習を実施しました。

当日は西浜サーフライフセービングクラブの協力をいただいて、インストラクターから海での安全に関する知識やルールの説明、救助(レスキュー、心肺蘇生)の実演を実施。そのあと、海で楽しく遊びながらインアウト、ランスイムラン、ニッパーボードやビーチフラッグスなど、日頃ライフセーバーが行っていることを体験してもらい、最後はビーチクリーンを実施しました。終了後の、次回このような行事があったら参加しますか?というアンケートに、全員が参加します!と答えてくれました。ご協力いただいた西浜SLSCの皆さま、有り難うございました。



編集後記

事務局を始めて今まで全く知らなかった人達の存在を知りました。もちろん最前線でやっているライフセーバー・ライフガードのメンバーが居なければ海の安全は守れない。でもその裏には、直接関わらなくても本当に多くの人達が私達の活動を支えてくれたら応援してくれています。その人達へ改めて感謝いたします。そして、また一方でこの活動を正しく認識していない人や煙たく思っている人が居ることもまた事実です。県連盟として、いちライフセーバーとしてこれからもライフセービング道を楽しく笑顔で、邁進していきたいと思ひます。

Keep on smiling! 原 伸輔



神奈川県ライフセービング連盟
会報誌ピア01 通巻7号
発行: KLF事務局
発行日: 2005年11月20日
発行人: 加藤道夫
編集: 原伸輔
特定非営利法人
神奈川県ライフセービング連盟
〒251-0046
神奈川県藤沢市辻堂西海岸3-1-1辻堂海岸ビル2F
電話 0466-34-2243
FAX 0466-34-2257
URL www.lifesaving.ne.jp
Mail info@lifesaving.ne.jp